

18年生産 磨棒鋼63万トンに増

需要堅調 CH鋼線も伸長

日本磨棒鋼工業組合のまとめによると、2018年の全国の磨棒鋼生産は前年同期比2・7%増の62万9174トン、冷間圧造用（CH）鋼線生産は5・2%増の47万9370トンとなり、磨棒鋼、CH鋼線ともに増加した。主要販売先の自動車向けの需要が堅調に推移したことなどが増加に寄与した。

地域別出荷では、関東組合は磨棒鋼生産が前年同期比2%増の20万8948トン、CH鋼線生産が7・1%増の15万6319トン、中部組合は磨棒鋼が1・2%増の18万9522トン、CH鋼線が2・5%増の21万9624トン、関西組合は磨棒鋼が4・5%増の23万7047トン、CH鋼線が8・4%増の10万3427トンとなった。3地区組合とも両製品で前年同期実績比プラスとなった。18年の全国出荷量は磨棒鋼が前年同期比3・1%増の63万5132トン、CH鋼線が4・2%増の49万3868トン、3地区組合とも両製品で前年同期実績比プラスとなった。18年の月平均の製品在庫は両製品合計で前年同期比0・9%増の5万9393トン。地域別では関東組合が3・4%増の2万1896トン、中部組合が4%増の7789トン、関西組合が1・6%減の2万9709トンとなった。

4面（関連記事）

2018年磨棒鋼・CH鋼線統計

			関東組合		中部組合		関西組合		合計	
			前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
生産	磨棒鋼	普通鋼	44,777	6.0	19,850	⊖4.5	63,478	3.2	128,105	2.8
		特殊鋼	164,171	1.0	169,672	1.9	167,226	5.1	501,069	2.6
		計	208,948	2.0	189,522	1.2	230,704	4.5	629,174	2.7
	冷間圧造用鋼線	普通鋼	29,559	1.5	15,739	14.7	56,658	7.5	101,956	6.7
		特殊鋼	126,760	8.5	203,885	1.6	46,769	9.4	377,414	4.8
		計	156,319	7.1	219,624	2.5	103,427	8.4	479,370	5.2
出荷	磨棒鋼	普通鋼	44,688	4.7	17,240	⊖4.4	74,446	3.1	136,374	2.6
		特殊鋼	163,623	1.3	160,109	2.7	175,026	5.6	498,758	3.3
		計	208,311	2.0	177,349	2.0	249,472	4.9	635,132	3.1
	冷間圧造用鋼線	普通鋼	29,417	1.1	15,507	9.5	55,958	6.5	100,882	5.3
		特殊鋼	126,915	8.4	218,115	0.3	47,956	10.5	392,986	4.0
		計	156,332	6.9	233,622	0.9	103,914	8.3	493,868	4.2